

1989—2002 彩り豊かに25万都市

【平成元年～平成14年】

楽しく、快適に暮らせるまちを目指す平塚市

city
hiratsuka
kanagawa
70th
Anniversary

力強い先人の努力で現在の平塚市ができました。
その姿を見守ってきた海、山、川といった自然が、
人々の未来への思いをやさしく包みこんで
躍進し続けるまちを支えています。

1989年 DATA ●人口242,247人 ●世帯数79,437世帯 ●面積67.88km² ●人口密度3,569人/km²
〔10月1日現在〕



湘南ひらつか七夕まつり ●戦後の復興まつりから始まった七夕まつり。今では、毎年300万人を越す人たちでにぎわいます。七夕まつりは、発展の原動力となった商人たちの心意気の現れであり、力を合わせ、まちを作ってきた市民の夢をつなぐ支えでした。豪華な竹飾りは初夏の風にゆれながら、今と昔をつないでいます。

快適に暮らせるまち。
一人一人が主役です

平成になり、物や人の急速な移り変わりを背景に、様々な表情を見せる平塚のまち。平成三年（一九九二年）には、約三十ヘクタールにもおよぶ総合公園が全面オープンします。中原御殿の御林から海軍火薬廠、果樹試験場と歴史を刻んできたこの地は、数々のスポーツ施設や自然にあふれた憩いの場になりました。

美術館のやすらぎ、ビーチパークのにぎわい、ベルマールの熱気、お花畑「馬入・光と風の花づつみ」にたなびく花たちのうるおい…。「二十五万都市平塚」はいくつもの色に輝きながら、さらに躍進を続けていきます。

そして、全国的にも名前が知られるようになった平塚には多くの人が訪れます。「七夕まつり」や囲碁棋士・木谷實九段の功績を讃える「囲碁まつり」には、遠方からの参加者も多く、様々な交流が生まれています。

また、二十一世紀を前にした平成十二年（二〇〇〇年）には、百年前に未来予測をした村井弦斎が注目を浴びます。こうしたまちの歴史や文化にふれることにより、郷土への愛着心が深まってきました。

そして、平成十四年（二〇〇二年）。新たな時代のステージに立った平塚はどう変わっていくのでしょうか。その答えは、未来への夢と希望を描いてゆくわたしたち一人一人の暮らしの中にあります。

● 平塚市の主な出来事【1989～2002】

- 平成元年(1989年) 神奈川大学平塚キャンパス開校。ひらつかグリーンタッチ'89を開催
- 平成2年(1990年) ローレンス市と姉妹都市調印。サーフ'90を開催。SCN開局
- 平成3年(1991年) 平塚市美術館が開館。総合公園が全面オープン
- 平成4年(1992年) 学校週5日制が始まり、第2・4土曜日が休みとなる
- 平成5年(1993年) ベルマーレ平塚がJリーグに昇格
- 平成6年(1994年) 湘南車検場がオープン。FM湘南ナバサ開局
- 平成7年(1995年) 湘南ひらつかビーチセンターがオープン
- 平成8年(1996年) なぎさふれあいセンターがオープン。囲碁多面打ち大会が始まる
- 平成9年(1997年) お花畑「馬入・光と風の花づつみ」が完成
- 平成10年(1998年) かながわ・ゆめ国体で4競技を開催。日向岡トンネル開通
- 平成11年(1999年) 総合公園で朝市が始まる。文化財団設立。青少年議会開催
- 平成12年(2000年) 新港の一部を開港。七都県市合同防災訓練を開催
- 平成13年(2001年) 水辺の楽校がオープン。馬入の渡し復元イベント
- 平成14年(2002年) 4月1日、市制70周年を迎える



馬入・光と風の花づつみ◎平成9年(1997年)、ごみが多かった河川敷にお花畑を作りました。「馬入・光と風の花づつみ」と名付けられた広さ約3万m²のお花畑は季節によって、ポピーやコスモスなどの花々が咲き、心を和ませる空間となっています。



ひらつかグリーンタッチ'89◎平成元年(1989年)に総合公園でみどりと花をテーマにした催しが開かれました。総合公園は、この2年後に全ての施設がオープンし、今ではみなさんの憩いの場となっています。



サーフ'90◎平成2年(1990年)7月21日から8月19日まで、海の新しい利用方法や遊びを提案する広域イベント「サーフ'90」が、湘南海岸公園と平塚海岸で開かれました。このとき完成した320mのボードウォークは、海を気軽に楽しめる人気の場所です。



ベルマーレJリーグ昇格◎平成5年(1993年)にJFL1部で優勝したベルマーレ平塚がJリーグ入り。一躍、「平塚」の名が全国に知られるようになりました。中田英寿選手など数々のスタープレイヤーを生み出したベルマーレは、今も多くのサポーターに愛されています。
〈湘南ジャーナル社蔵〉



囲碁多面打ち大会始まる◎戦前から38年間市内に住み、囲碁界に多大な功績を残した木谷實九段。その功績を記念し、平成8年(1996年)から囲碁多面打ち大会が始まりました。紅谷パールロードに並べられた碁盤の前に愛好者とプロ棋士が対局を楽しみます。

「お気に入りの場所は“湘南平”です。」

今、一番楽しい遊びはテレビゲームです。好きなゲームソフトがたくさんあるので、自分で買ったり、友達に借りたりして楽しんでいます。ほかには音楽を聞いたり、漫画を描いたり、わたしの周りの女の子は家の中で遊ぶことが多いですね。男の子は野球やサッカーが好きみたいです。ベルマーレのファンの子もたくさんいますよ。

それから、最近、興味があるのがパソコンです。学校でもパソコンを使っていて、歴史のことなどを調べるときにインターネットを使っています。いろいろなことが簡単に調べられるので、とても役に立ちます。家にパソコンがある人も多いですね。

平塚の中でわたしのお気に入りの場所は、湘南

平です。家から近いので、桜の季節になると、毎年家族そろってお花見に行くんです。それが楽しみです。夏になるとサワガニやクワガタに会えることもあるんですよ。自然がいっぱい残っている。緑があふれる風景が落ち着くので好きです。家族もみんな、「緑がいっぱいある平塚市にずっと住んでいたいな」って言っています。

これからの平塚には、七夕まつりのような行事が増えて、もっとにぎやかになってほしいなと思っています。また、体の不自由な人も安心して過ごせるようなまちになるといいですね。にぎやかなまち、だれにでも過ごしやすいまち、そしてなんといっても緑がいっぱいある平塚が大好きです。



1989年生まれ
河原崎美喜さんの
ひらつか話